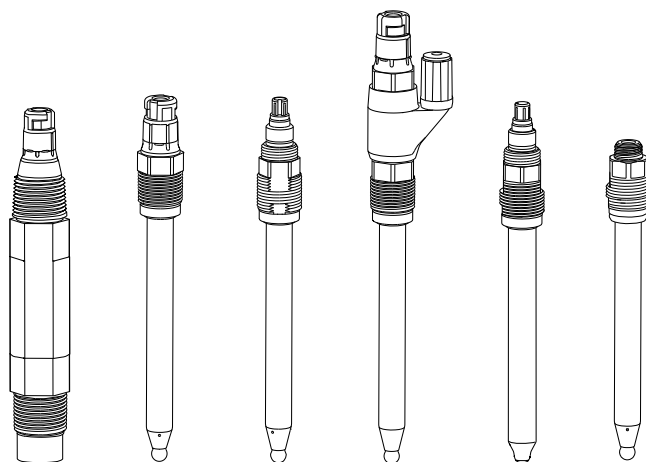


取扱説明書 pH/ORP センサおよびリファレ ンスハーフセル

Memosens テクノロジ搭載センサおよびアナログ
センサ



1 本説明書について

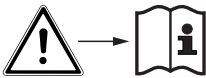
1.1 警告

情報の構造	意味
 危険 原因（/結果） 違反した場合の結果（該当する場合） ▶ 修正方法	危険な状況を警告するシンボルです。 この状況を回避できない場合、致命傷または重傷を負います。
 警告 原因（/結果） 違反した場合の結果（該当する場合） ▶ 修正方法	危険な状況を警告するシンボルです。 この状況を回避できなかった場合、重傷または致命傷を負う 可能性があります 。
 注意 原因（/結果） 違反した場合の結果（該当する場合） ▶ 修正方法	危険な状況を警告するシンボルです。 この状況を回避できなかった場合、軽傷または中程度の傷害を負う 可能性があります 。
 注記 原因 / 状況 違反した場合の結果（該当する場合） ▶ アクション/注記	器物を損傷する可能性がある状況を警告するシンボルです。

1.2 使用されるシンボル

シンボル	意味
	追加情報、ヒント
	許可または推奨
	禁止または非推奨
	資料参照
	ページ参照
	図参照
	操作・設定の結果

1.2.1 機器のシンボル

シンボル	意味
	機器の資料参照

1.3 関連資料

本取扱説明書を補足する以下の説明書は、インターネットの製品ページに掲載されています。

- 関連するセンサの技術仕様書
- 使用する変換器の取扱説明書

これらの取扱説明書に加えて、危険場所で使用するセンサには「危険場所で使用する電気機器に関する安全上の注意事項」が記載されたドキュメント XA が付属します。

- ▶ センサを危険場所で使用する場合は、以下のドキュメントの指示を必ず順守してください。

 危険場所で使用する電気機器に関する安全上の注意事項、Memosens pH/ORP センサ、XA00376C

 危険場所で使用する電気機器に関する安全上の注意事項、アナログ pH/ORP センサ、XA00028C

 危険場所で使用する電気機器に関する安全上の注意事項、Memosens pH/ORP センサ、XA01437C

 危険場所で使用する電気機器に関する安全上の注意事項、Memosens pH/ORP センサ、XA00079C

 危険場所で使用する電気機器に関する安全上の注意事項、アナログ pH/ORP センサ、XA01440C

2 安全上の基本注意事項

2.1 作業員の要件

- 計測システムの据付け、試運転、運転、およびメンテナンスは、特別な訓練を受けた技術者のみが行うようにしてください。
- 技術者は特定の作業を実施する許可をプラント管理者から受けなければなりません。
- 電気接続は電気技師のみが行えます。
- 技術者はこれらの取扱説明書を読んで理解し、その内容に従う必要があります。
- 測定点のエラーは、特別な訓練を受け、許可された作業員が修理を行ってください。

 支給された取扱説明書に記載されていない修理はメーカーまたは契約サービス会社のみが行えます。

2.2 用途

CPSx1D、CPSx1、CPS1x1D、CPFx1D および CPFx1 センサは液体の pH 値の連続測定用に設計されています。

CPSx2D、CPSx2、CPFx2D および CPFx2 センサは液体の酸化還元電位の測定用に設計されています。

CPSx3 リファレンスハーフセルと同様、CPSx4 および CPSx5 ハーフセル は液体の pH 値 (CPSx4) または ORP (CPSx5) の測定用に設計されています。



推奨アプリケーションの一覧については、関連するセンサの技術仕様書を参照してください。

指定の用途以外で本機器を使用することは、作業員や計測システム全体の安全性を損なう恐れがあるため容認されません。

不適切な、あるいは指定用途以外での使用に起因する損傷については、製造者は責任を負いません。

2.3 労働安全

ユーザーは以下の安全条件を順守する責任があります。

- 設置ガイドライン
- 現地規格および規制
- 防爆規制

2.4 操作上の安全性

全測定点の設定を実施する前に：

1. すべて正しく接続されているか確認してください。
2. 電気ケーブルおよびホース接続に損傷が生じていないことを確かめてください。
3. 損傷した製品は操作しないでください。そして、意図せずに作動しないよう安全を確保してください。
4. 損傷のある製品にはその旨を明記したラベルを掲示してください。

操作中：

- ▶ 不具合を解消できない場合は、製品を停止させ、意図せずに作動しないよう安全を確保してください。

2.5 製品の安全性

2.5.1 最先端技術

本機器は最新の安全要件に適合するよう設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されています。関連法規および国際規格に準拠します。

3 納品内容確認および製品識別表示

3.1 納品内容確認

1. 梱包が破損していないことを確認してください。
 - ↳ 梱包が破損している場合は、サプライヤに通知してください。問題が解決されるまで破損した梱包を保管してください。

2. 内容物が破損していないことを確認してください。
 - ↳ 納品物が破損している場合は、サプライヤに通知してください。問題が解決されるまで破損した製品を保管してください。
3. すべての納入品目が揃っており、欠品がないことを確認してください。
 - ↳ 発送書類と注文内容を比較してください。
4. 保管および輸送用に、衝撃や湿気から確実に保護できるように製品を梱包してください。
 - ↳ 弊社出荷時の梱包材が最適です。許容周囲条件を必ず遵守してください。

ご不明な点がございましたら、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

3.2 製品識別表示

3.2.1 銘板

銘板には機器に関する以下の情報が記載されています。

- メーカーの詳細情報
- オーダーコード
- シリアル番号
- 運転条件
- 安全上の注意と警告

- ▶ 銘板の情報と発注時の仕様を比較確認してください。

3.2.2 製品の識別

オーダーコードの解説

製品のオーダーコードとシリアル番号は以下の位置に表示されています。

- 銘板上
- 出荷書類

製品情報の取得

1. www.endress.com に移動します。
2. サイト検索を呼び出します（虫眼鏡）。
3. 有効なシリアル番号を入力します。
4. 検索ボタンを押します。
 - ↳ 製品構成がポップアップウィンドウに表示されます。
5. ポップアップウィンドウの製品画像をクリックします。
 - ↳ 新しいウィンドウ（**Device Viewer**）が開きます。ご使用の機器に関連するすべての情報と製品ドキュメントがこのウィンドウに表示されます。

3.2.3 製造者データ

Endress+Hauser Conducta GmbH+Co. KG
Dieselstraße 24
D-70839 Gerlingen

または

Endress+Hauser Conducta Inc.
4123 East La Palma Avenue, Suite 200
Anaheim, CA 92807 USA

3.3 保管および輸送

すべてのセンサは個別にテストされ、個別に梱包された状態で支給されます。センサは保護キャップ付きで支給されます。キャップには、センサの乾燥を防ぐ特殊な液体が入っています。



センサが乾燥しないようにしてください。乾燥すると、恒久的な測定エラーを引き起こすことがあります。

センサは 0～50 °C (32～122 °F) の乾燥した室内に保管してください。

注記

内部の標準液および電極の凍結

センサは -15 °C (5 °F) 以下の温度では割れる恐れがあります。

▶ センサの輸送時は、適切な方法で凍結から保護されるよう梱包してください。

3.4 納入範囲

納入範囲は以下の通りです。

- 注文したバージョンのセンサ
- 取扱説明書
- 危険場所における安全上の注意事項（防爆認定取得センサ用）

3.5 認証と認定

3.5.1 CE マーク

本製品はヨーロッパの統一規格の要件を満たしています。したがって、EU 指令による法規に適合しています。Endress+Hauser は本機器が試験に合格したことを、CE マークの添付により保証いたします。

3.5.2 EAC

本製品は、欧州経済地域 (EEA) で適用される TP TC 004/2011 および TP TC 020/2011 ガイドラインに従って認定を取得しています。EAC 適合マークが製品に貼付されています。

3.5.3 船級認定

選択可能な機器およびセンサは、次の船級協会によって発行された船舶アプリケーション用型式認証を取得しています : ABS (American Bureau of Shipping)、BV (Bureau Veritas)、DNV-GL (Det Norske Veritas-Germanischer Germanische Lloyd) および LR (Lloyd's Register)。認定を取得した機器およびセンサのオーダーコード、設置および周囲条件の詳細

細は、インターネットの製品ページにある船舶アプリケーション用の関連認定書に記載されています。

4 設置

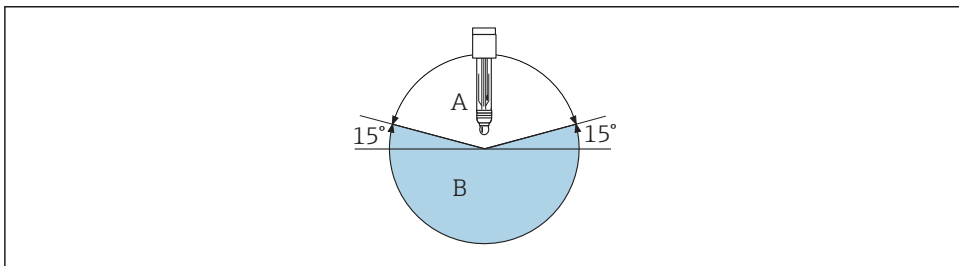
4.1 設置条件

- センサをねじ込む前に、ホルダのネジ、O リング、シール表面に汚れや損傷がなく、ネジがスムーズに回ることを確認してください。
- 使用するホルダの取扱説明書に記載された取付手順に注意してください。
- ▶ センサをねじ込み、手で 3 Nm (2.21 lbf ft) のトルクで締めてください（この仕様は Endress+Hauser 製ホルダに設置する場合のみ有効）。

4.1.1 取付方向

CPS71(D)-*BU/TU** を除くすべてのセンサ

- センサを上下逆向きに取り付けしないでください。
- 水平に対して最低 15° 以上の傾斜角度が必要です。



A0028039

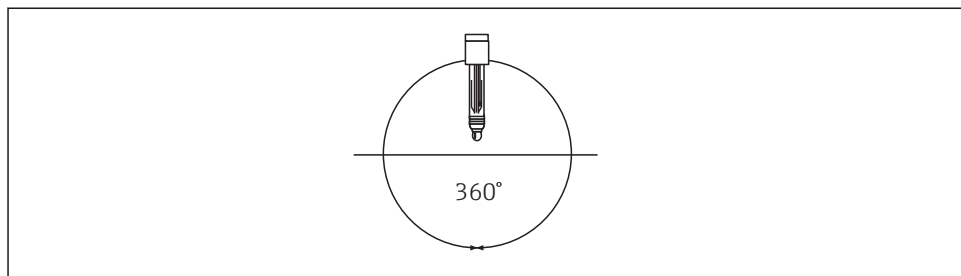
図 1 取付角度は水平に対して最低 15° 以上

- A 許容される取付方向
B 不正な取付方向

CPS71(D)-*BU/TU**のみ¹⁾

- センサは全方向からの設置に適しています。
- 任意の方向にセンサを設置できます。

1) 固体ゲルを使用する ORP およびリファレンスハーフセルの場合も、全方向からの設置が可能です。



A0028040

図 2 取付角度は任意

⚠ 注意

加圧リファレンス付きガラスセンサ

突然の破裂およびガラスの破片により負傷する恐れがあります。

- ▶ これらのセンサを取り扱う場合は、必ず保護メガネおよび適切な手袋を着用してください。

CPS71(D)-*TP** の設置方法

⚠ 注意

加圧リファレンス付きガラスセンサ

突然の破裂およびガラスの破片により負傷する恐れがあります。

- ▶ これらのセンサを取り扱う場合は、必ず保護メガネを着用してください。
- ▶ リファレンス接合部のシリコンシールを取り外す場合は、特に注意してください。ここでは、センサが測定を開始するためにナイフを使用します。

正しい pH 測定：

- ▶ センサを設置する前に、接合部からシリコンシールを取り外す必要があります。製品に同梱されたナイフを使用します。

4.2 設置状況の確認

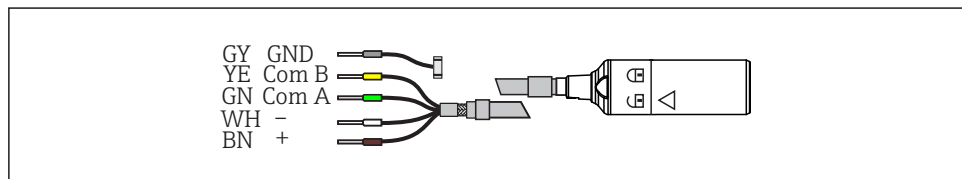
次のすべてのチェック項目が確実に施工されていることを必ず確認した上で、センサを起動させてください。

- センサとケーブルに損傷がないか？
- 取付方向は正しいか？

5 電気接続

5.1 センサの接続

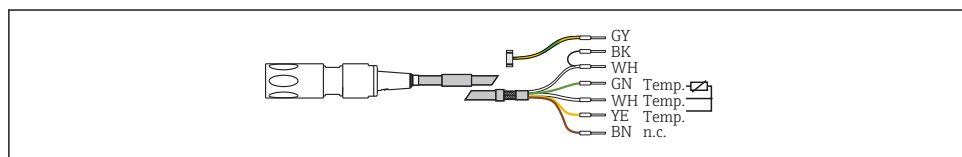
Memosens センサ



A0028047

図 3 測定ケーブル CYK10 または CYK20

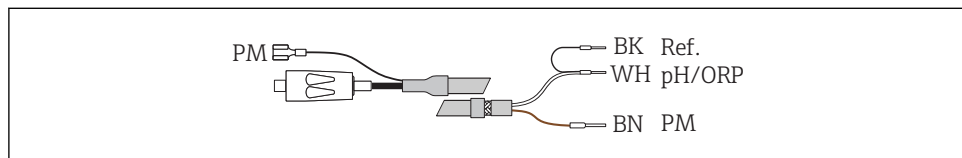
TOP68 プラグインヘッド付きセンサ



A0028048

図 4 測定ケーブル CPK9

GSA プラグインヘッド付きセンサ



A0028051

図 5 測定ケーブル CPK1

- ▶ 変換器の取扱説明書に記載された接続指示に従ってください。

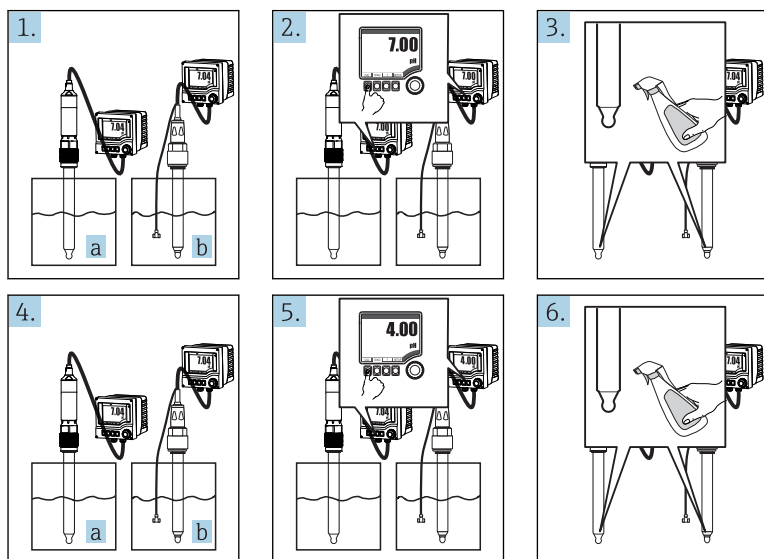
6 設定

6.1 校正および測定

センサ校正またはセンサ点検を実施する頻度は、動作条件（汚れ、化学的負荷など）に応じて異なります。

i Memosens テクノロジー搭載の新品の pH または ORP センサは、校正を行う必要がありません。極めて高い精度の要件を満たさなければならない場合、またはセンサが 3 ヶ月以上保管されていた場合は、センサ交換時に校正を実施してください。

- pH センサの場合は、2 点校正が必要です。Endress+Hauser 製の高品質標準液（例：CPY20）を使用してください。
- ORP センサの場合は、1 点校正が必要です。Endress+Hauser 製の 220 mV または 468 mV の標準液（例：CPY3）を使用してください。
- ▶ 校正および測定を行う前に保護キャップを取り外します。
- ▶ 乾燥状態で保管された pH/ORP センサは、使用する前に最低 24 時間以上、測定物に浸漬させる必要があります。これを実施しないと、測定値の激しいドリフトが発生する可能性があります。
- ▶ センサを保管するために保護キャップを使用しない場合は、センサを KCl 溶液（3 mol/l）または標準液内に保存します。
- ▶ センサ校正またはセンサ点検を実施する頻度は、動作条件（汚れ、化学的負荷）に応じて異なります。
- ▶ アナログ pH または ORP センサは、センサ交換時に校正しなければなりません。



1. 規定された標準液（例：pH 7 または 220 mV）にセンサを浸漬させます。

対称接続 (b) の場合は、等電位接地線 (PML) も溶液に浸漬させます。非対称接続の場合は、PML なしのケーブルを使用するか、または熱収縮チューブのすぐ後で PML を切断します。

 **Memosens** テクノロジー搭載の pH または ORP センサの場合、PML と接続する必要はありません (a)。

2. 変換器を操作して校正を実施します。

(a) pH センサおよび手動の温度補正の場合、測定温度を設定します。

(b) 標準液の pH 値 または mV 値を入力します。

(c) 校正を開始します。

(d) 安定すると値が取り込まれます。

3. 蒸留水を使用してセンサを洗い流します。センサを乾燥させないでください。

 ORP センサの場合は、これで校正が完了し、変換器がセンサに対して調整済みとなります。

4. pH センサを 2 番目の標準液 (例: pH 4) に浸漬させます。

5. 変換器を操作して校正を実施します。

(a) 次の標準液の pH 値を入力します。

(b) 校正を開始します。

(c) 安定すると値が取り込まれます。

変換器がゼロ点およびスロープを算出して、値を表示させます。調整値が取り込まれると、変換器は新しい pH センサに対して調整済みとなります。

6. 蒸留水を使用して pH センサを洗い流します。

7 メンテナンス

7.1 メンテナンス作業

7.1.1 センサの洗浄

警告

鉍酸およびフッ化水素酸

苛性やけどにより死亡または重傷を負う危険があります。

- ▶ 目を保護するために保護メガネを着用してください。
- ▶ 保護手袋および適切な防護服を着用してください。
- ▶ 絶対に目、口、皮膚に接触しないようにしてください。
- ▶ フッ化水素酸を使用する場合は、必ずプラスチック容器を使用してください。

警告

チオカルバミド

飲み込むと有害です。発がん性が疑われます。胎児に対して有害となる可能性があります。環境に長期的影響を及ぼす危険があります。

- ▶ 保護メガネ、保護手袋および適切な防護服を着用してください。
- ▶ 絶対に目、口、皮膚に接触しないようにしてください。
- ▶ 産業廃棄物として処理してください。

センサの汚れは汚染のタイプに応じて、以下のように洗浄してください。

1. 油性およびグリース性の被膜：
脂肪溶剤（例：アルコール）、または温水と界面活性剤（アルカリ性）を含む薬剤（例：食器用洗剤）を使用して洗浄します。
2. 石灰や金属水酸化物の付着物および難溶解性（疎溶媒性）の有機付着物：
希塩酸（3 %）を使用して付着物を分解し、その後、清浄水で十分に洗い流します。
3. 硫化物を含む付着物（排煙脱硫または廃水処理プラントから）：
塩酸（3 %）とチオカルバミド（市販品）の混合液を使用し、その後、清浄水で十分に洗い流します。
4. タンパク質を含む付着物（例：食品産業）：
塩酸（0.5 %）とペプシン（市販品）の混合液を使用し、その後、清浄水で十分に洗い流します。
5. 易溶性の生物学的付着物：
加圧水で洗い流します。

洗浄後、センサを水で十分に洗い流し、再校正してください。

8 修理

8.1 返却

機器の修理または工場校正が必要な場合、あるいは、誤った機器が注文または納入された場合は、本機器を返却する必要があります。Endress+Hauser は ISO 認定企業として法規制に基づき、測定物と接触した返却製品に対して所定の手順を実行する義務を負います。

迅速、安全、適切な機器返却を保証するため：

- ▶ 機器返却の手順および条件については、弊社ウェブサイト www.endress.com/support/return-material をご覧ください。

8.2 廃棄

機器には電子部品が含まれます。製品は電子部品廃棄物として処分する必要があります。

- ▶ 廃棄にあたっては地域の法規・法令に従ってください。



71481320

www.addresses.endress.com
